大阪維新の会 大阪府議会議員団

大阪の未来と成長を見すえ 大阪都構想と大阪万博



大阪都構想実現に向け 議論が再燃

法定協議会
設置の議案が可決・成立

大阪府議会は、６月９日、大阪都構想の具体的な制度設計などを議論する法定協議会（大都市制度〈特別区設置〉協議会）の設置に関する議案を、大阪維新の会と公明党などの賛成多数で可決しました。

大阪市議会では、すでに（５月26日）可決されており、今後、都構想を巡っての議論が再燃されることになります。また、今回の法定協では、並行して、市を残して区の権限を強化する総合区制度についても議論されます。

住民投票
2018年秋 実施を目指して

法定協は、政令市を特別区に分割する手続きを定めた大都市地域特別区設置法に基づき設置されるもので、知事、市長、府市両議会の議員計20人で構成し、特別区設置の日や区の名称・区域、区議会の議員数、区と府の事務分担や税源配分などについて、総務大臣の意見も踏まえて「協定書」を作成します。

この協定書を大阪市民による住民投票にかけて特別区移行の賛否を問うことになりますが、府と市は来年秋の投票実施をめざしています。

想定されるスケジュール

2017年 6月
協議開始
- 特別区設置の日
- 特別区の名称及び区域
- 特別区と府の事務分担事項（総合区についても議論できる）

2018年 春頃？
総合区の最終案を作成

2018年 夏頃？
都構想の特別区案（協定書）を作成

2018年 秋
特別区の住民投票

2025 大阪万博 世界を舞台にオールジャパンで誘致活動が本格化

BIE総会で初のプレゼンテーション



松井知事・榊原会長（6月14日）

2025年の国際博覧会（万博）の大阪誘致に向け、松井一郎大阪府知事と誘致委員会の榊原定征会長（経団連会長）が、パリで開かれた博覧会国際事務局（BIE）総会で初のプレゼンテーションを行い、大阪万博の魅力をアピールしました。

誘致に立候補しているのは、大阪（日本）を含む4都市（4か国）で、開催地の決定は、2018年11月のBIE総会で加盟国（約170か国）の投票で決まります。

OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO2025

誘致委員会のアンバサダー（大使）にダウンタウンさんが就任！

大阪万博実現へ 誘致活動のロゴマークが決まる！

世界の人々を笑顔にさせるデザイン

大阪・関西の魅力をアピール プレゼンテーション



松井知事のプレゼンテーション

松井一郎知事

「大阪・関西は、革新的なアイデアを提案する進取の気性、次の時代を見通すクールなマインドに支えられ発展してきた」など、大阪・関西のポテンシャルなどについて説明するとともに、「内外に向けた至便な交通インフラ、世界トップクラスの治安、おもてなしの心をもって、世界の皆様をお迎えいたします」とBIE加盟国に対し熱く訴えました。

榊原定征会長

「現在、日本では、“Society5.0”という超スマート社会を目指す国家プロジェクトに官民共同で取組んでいる。我々が目指す未来社会は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）が達成された社会。SDGs達成のフロントランナーとなり、大阪・関西の万博で未来社会を世界の皆様と共有したい」と、万博のコンセプトなどを説明しました。

安倍晋三首相

プレゼンテーションのオープニングで、「世界的な技術が数多く大阪から生まれている。日本政府は大阪・関西の立候補を全面的に支援する」とのビデオメッセージが披露されました。

2025大阪万博の開催計画

テーマ	いのち輝く 未来社会のデザイン
会　場	大阪湾の人工島「夢洲」
期　間	2025年 5月3日～11月3日
来場見込	2800万～3000万人
経済波及効果	約1兆9000億円


夢洲（大阪市港湾局提供）

開催地の決定まで想定スケジュール

17年	6月	BIE総会で初のプレゼンテーション
	9月	政府が招致提案書を策定し、BIEに提出
	11月	BIE総会でプレゼンテーション（2回目）
18年	1月	BIEが候補地の現地調査
	6月	BIE総会でプレゼンテーション（最終）
	11月	BIEが加盟国（約170か国）の投票で開催地決定